

いわみざわ



発行所 隊友会岩見沢支隊
編集 第12中隊
岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市東沢町
最上350
TEL (0126) 45-2721



岩見沢駐屯地創立58周年 第12施設群創隊36周年



八月六日(土)駐屯地創立五十八周年・第十二施設群創隊三十六周年記念行事が挙行された。今年には駐屯地一般開放をせず、日中は隊員・家族との焼肉パーティーや家族コミュニケーションが行われ、くじ引きや子供広場等の催し物に会場は盛り上がった。その後、会場を岩見沢ホテルサンブラザに移し、祝賀会食が行われた。はじめに震災で犠牲に遭われた方々に黙とうを捧げた。そして岩見沢自衛隊協力会隊区連合会長 渡辺孝一氏による共催団体代表挨拶、北海道会議員 村木中氏、三笠市長 小林和男氏の祝辞、駐屯地司令 野路一佐の謝辞、その後は岩見沢駐屯地に格別なるご支援ご協力を賜った六名に対し、司令から感謝状が贈呈された。受賞者については、牧田滋昌氏、北孝男氏、河原憲幸氏、宮森金治氏、武田伸二氏、横田豊氏。自衛隊退職者雇用協議会岩見沢支部長 五十嵐園氏の祝杯により和やかに会食が開始された。災害派遣活動の紹介を実施した後、第十一普通科連隊が迫力ある機甲太鼓を披露。会場は一気に最高潮となった。最後は隊友会岩見沢支部長 白根謙一氏の万歳三唱で今年度の記念行事は終了した。



↑駐屯地司令より感謝状贈呈



↑和やかに会食は進められた



↑第11普通科連隊による迫力ある太鼓演奏披露



↑災害派遣に参加した中隊長による活動の報告

第336・337施設中隊訓練検閲



七月十九日から二十一日、第336・337施設中隊の訓練検閲が北海道大瀨野場にて実施された。統制官（群長 野路一佐）は要領事項「基本・基礎的事項の確行」「安全管理の徹底」の二点を要望した。災害派遣帰隊後の今年度初となる中隊検閲であり、隊員達の気遣いが高まっている状況の中開始された。二個中隊共中隊長を核心として任務を遂行し、二夜三日で行われた本検閲は無事終了した。

北部方面施設隊長 初度視察



八月一日、北部方面施設隊長（渡邊 一弘 一等陸佐）の初度視察を受察した。幹部挨拶・状況報告・隊内巡視そして最後に体育館において施設隊長訓示が実施された。訓示では「隊員一人一人が元氣よくかつ紳士な姿勢であり大変嬉しく思う。要望事項である『妥協なき任務の完遂』とはそれぞれの任務を完遂する時に自ら任務分析をして達成すべき目標は何なのかを具体的にし、それに対して全力をつくすということ。全力を出し切ってこそ自分の力がわかってどこが足りないかがわかる。是非自分に妥協しないということ。を要望したいと思う。今後とも北部方面施設隊の中心の施設群として群長を核心として頑張ってもらいたい。」と述べられた。

いわみざわ彩花祭り・赤レンガ祭り



↑元氣な踊りを披露！

七月十五日に「いわみざわ彩花祭り」が行われた。今年も新隊員教育隊が参加し、観光協会会長賞を受賞した。翌十六日からは「いわみざわ赤レンガ祭り」が始まり、駐屯地からは去年大盛況であった無料街パッチの作成で今年もブースを開設した。二日間とも生憎の天候ではあったが、多くの家族連れが会場に足を運んでいた。街パッチは二日間、計七五〇個を作成した。

新隊員特技課程教育開始




七月四日から新隊員特技課程・一般陸曹候補生後期教育が開始された。前期教育で自衛官としての基礎を修得し、乗り越えてきた隊員達は勇敢な姿勢で一致団結し教育に臨んでいる。二十三名の隊員がこの岩見沢駐屯地で施設科としての職能を学び、九月十六日の教育修了を迎えようとしている。



防衛省 職員 団体 障害 保険 家族
 団体長期傷害所得補償保険「長期所得安心くん」
防衛省 退職後 団体障害 保険
防衛省 共済組合 がん 保険
 団体取扱

お見積・資料請求 <http://webby.afiao.co.jp/bousi/>
 お申し込み・お問い合わせ
 岩見沢駐屯地厚生科内（内線338）
 弘済企業（株）保険常駐員 **池田 哲夫**


千葉電気工事株式会社
 代表取締役 **千葉 嘉男**

岩見沢市東山10丁目6番3号
 電話 (0126) 24-4567 番

陸曹二年目



本部管理中隊
三曹 国分 省吾

私が陸曹となり、早一年が経ちました。昨年は、異動で第十二施設群本部管理中隊への配属となり、陸曹候補生試験の教育・指導係や持統走の助教要員として中隊の諸先輩方に、指導等を得ることができました。また、少し遅くはなりましたが、南恵庭自動車教習所にも学生長として参加し、無事に免許を取得することができました。
冬季訓練では、二年振りのスキーに悪戦苦闘するも、何とかやり終えたという間に、三月十一日に東北地方で大震災が起こり、二日後の十三日に現地向け出発しました。自分の出来る事すべてを全力で取り組んできました。そして三月月の災害派遣を終了し、今に至っています。



↑現在歯科助手として衛生技能向上中

災害派遣に参加して



第三三六施設中隊
二曹 田中 道介

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災。
派遣命令から四日後、私達は宮城県南三陸町に到着しました。町に足を踏み入れた瞬間私は声を失いました。そこに建っていたであろうビルや建物はすべて流され、一帯は瓦礫の山、道路を塞ぐ横たわった大木、泥にまみれた人形や結婚式の写真等思い出の物が辺り一面に散乱していました。まさに壊滅状態でした。
何ともいえない感情がこみあげる中、復旧作業は開始されました。
作業内容は、道路を塞ぐ瓦礫や大木を取り除く啓開作業で、生存者がいることを祈りながらの慎重な作業が続きました。昼夜を問わず交代での作業が続きました。昼夜を問わず交代での作業が続きました。しかし東北地方全体の完全復旧はいつになるかわかりません。それでも被災者の方々は復旧を信じ、ほんの少しずつ、一歩ずつ確実に前に進んでいます。
完全復旧と言うゴールに向けて、「今こそ見せましよう日本人の底力を、自衛隊の頼もしさを！」



↑瓦礫をかき分けての捜索活動

三人家族に



第三三七施設中隊
三曹 大淵 祐作

私の家族を紹介いたします。私は昨年の十一月に結婚し、現在私と妻の二人ですが、七月に待望の赤ちゃんが生まれる予定です。多分これを見るころには生まれていると思います。性別は男の子で、名前は「然(ぜん)ん」と言う名前を決めています。由来は自然が大好きな子に育ってほしい事とどんな困難にも立ち向かっていけるようにという想いで決めました。元気に生まれてきてほしいので、毎日妻のお腹に手を添えて名前を呼んでいます。父親になるのが刻々と近づいてきており、父親になるといふ喜びと責任を日々感じています。
私は今回の東日本大震災に災害派遣の命を受け出動しましたが、帰隊時期もわからず、妻の出産も控えていたので毎日不安ではありましたが、無事出産までに帰ってくる事が出来て不安事項がなくなり安心しました。



↑7月16日然くん誕生！
3人家族になりました！

時の変化、環境の変化



第三〇二坑道中隊
二曹 多田 正樹

私は、平成二十三年三月、四年ぶりに第三〇二坑道中隊に戻ってきました。
それまでは、桜か日高昆布、サラブレットの町静内駐屯地で単身赴任をしていました。勤務については、駐屯地業務隊で糧食班勤務をしていました。駐屯地業務隊には、職種の違いや自衛官や事務官、技官等様々な方がいて色々勉強になりました。また、駐屯地名物の阿波踊りにも参加し、貴重な体験をする事ができました。
これからは、「古巣の第十二施設群での勤務！」と気合いを入れて戻ってきましたが、装備も駐屯地の環境も変わり困惑する事もあります。これまでのカンボジア、阪神淡路大震災そして未曾有の大災害、東日本大震災、時の変化・環境の変化、これからも柔軟に対応できるように日々努力をし、体力面も維持しつつ、家族孝行と業務に励み若い隊員に負けないように頑張っていきたいと思



↑持統走記録会では若い隊員に負けない

駅東市民広場
イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください。☎0126-22-5871

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 北市 宗三

お車のことなら しっかりサポート

各種車両・中古車販売・板金・塗装・車検

東京海上日動火災保険代理店
大和マイカーセンター
代表 吉田 金清

岩見沢市北2条西20丁目2番12号
TEL 0126-25-2024 FAX 0126-25-2024
(夜間・自宅) 岩見沢市北2条西20丁目2番12号
TEL 0126-24-4576

SNACK

北の国から

飲み放題 3000円(5名様から)

岩見沢市3条西2丁目ツタヤビル4F 店主 平井
☎ 0126-(22)-8873

駐屯地の出来事



5月18日 春の交通安全運動



5月20日 旗の波作戦参加



6月10日 自衛官候補生総合訓練



6月27日 災害派遣出迎え行事



6月28日 自衛官候補生修了式



7月29日 転出行事



8月5～6日 子供キャンプ



8月17～19日 北村田舎フェスティバル支援

オール電化住宅のコンサルタント

株式会社 創電

本社

〒068-0022 岩見沢市大和2条2丁目17番地5 Tel(0126)-22-1434

Fax(0126)-24-9155

札幌営業所

〒061-0021 札幌市厚別区厚別西2条2丁目10番14号 Tel(011)-895-7753

三笠営業所

〒088-2264 三笠市いちきし町16-8

Tel(01267)-3-1141

出産おめでとう



335中 山吹3曹
珠真(りゅうま)くん
7月24日生



336中 山下3曹
美(みなと)くん
7月20日生



337中 大淵3曹
篤(げん)くん
7月16日生

各々 株式会社
TKK トッキュウ
Tokkyu

物流・・・

それは“まごころ”のネットワーク

本社 〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9

TEL 0126-45-2792 FAX 0126-45-3053

http://www.tokkyu-group.jp

(札幌/札幌北/苫小牧/東北/関東/中部)

Pub
あおき

岩見沢市2条西2丁目

TEL 0126-24-8085

Gibraltar
ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。

ブルデンシャルは、130年の歴史を持つ米系最大級の生命保険であり、世界の顧客に幅広い生命保険・サービスを提供しております。

ジブラルタ生命保険株式会社

岩見沢支部

〒068-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイズタワービル4F

TEL(0126)22-4875 FAX(0126)22-5734

定期異動

《転出》

■第十二施設群

本管中 曹長 田河俊一郎(美唄駐業)
 三三六中 一尉 北村 康聡(北施設本部)
 三三七中 一尉 大谷 和之(施設学校)
 三二二器材中 二曹 泉澤 雄心(北施設本付)
 三曹 榎本 一雄()
 士長 栗原 勇樹(第十一施設群)

■駐屯地業務隊

曹長 高橋 秀洋(北 処)
 曹長 糸山 史一(第七化防隊)
 二曹 池下 和孝(安平彈支処)

■第三二七會計隊

一尉 有坂 和久(北方 会)
 二曹 倉内 美樹(函館地本)
 三曹 大嶋 陽介(美唄連絡班)

《転入》

■第十二施設群

群本部 二尉 宇山 達也(北施設本部)
 本管中 曹長 秋田 好胤(北方総付)
 三〇二坑中 三曹 小柳 秀治(三〇一坑中)

■第二直接支援中隊

一尉 長嶺 哲夫(東千歳駐業)
 一曹 高橋 紀明(釧路派遣隊)

■駐屯地業務隊

一曹 藤田 繁樹(早来燃支所)
 一曹 佐々木 勝美(第一〇普通連)
 一曹 滝沢 俊治(第七特科連)

■第三二四基地通信中隊

三尉 小林 利雄(第十一通中)
 三曹 南 良樹(函館派遣隊)

■第三二七會計隊

二曹 戸村 博幸(第三二四会)
 三曹 高岡 専哉(第三四三会)
 士長 石川 準基(第三四五会)
 三曹 廣川 正尚(第一二〇地警隊)

祝昇任

■第十二施設群

一等陸尉へ 福田 浩之(三三六中)
 二等陸尉へ 山崎 正人(三三六中)
 小森 一平(三三七中)
 古橋 俊之(三三七中)
 足立 善克(三三七中)
 米田 正伸(三二二器材中)
 渡部 勝浩(三二二器材中)
 渡部 勝範(三二二器材中)
 山本 哲也(本管中)
 山本 啓之(本管中)
 佐伯 洋一(本管中)
 津田 雄一(三四二中)
 高橋 克彦(本管中)
 中山 智揮(本管中)
 長谷川 洋介(本管中)
 村田 和寿(三三五中)
 番井 健太(三三五中)
 中嶋 圭輔(三三六中)
 武蔵 健(三三六中)
 井上 博登(三三六中)
 小石川 ちから(三〇二坑中)
 杉本 一生(三三三中)
 片岡 直輝(三三七中)
 中村 倫章(三三六中)
 吉村 宏幸(三三六中)
 作田 尚之(三〇二坑中)

三等陸曹へ

准陸尉へ 森山 隆行
 一等陸曹へ 佐々木 啓雄
 ■駐屯地業務隊
 陸曹長へ 水戸部 勝
 一等陸曹へ 郡司 嘉國
 二等陸曹へ 宿谷 泰生
 ■第三二七會計隊
 三等陸尉へ 石崎 圭司

永年の勤務御苦労様でした



十二施設群 三三六中
 陸曹長 阿部 康宏
 (五月二十日付)



十二施設群 本管中
 陸曹長 番井 薫
 (六月三十日付)



十二施設群 本管中
 准陸尉 折笠 一可
 (七月二十日付)



十二施設群 本管中
 三等陸尉 荒井 耕治
 (八月一日付)



十二施設群 本管中
 三等陸尉 林 勝則
 (八月四日付)



第二直接支援中
 二等陸尉 松田 務
 (八月二十一日付)

いわみざわ
 ひと、いえ、くるま。JA共済には、暮らしの保障のすべてが揃っています
 JA共済は、相互扶助「助け合い」を理念とした協同組合保険。富利を目的としないので、納付のいく資金で大きな保障が得られます。
 岩見沢市2条西1丁目1番地
 TEL 0126-25-2211

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部
 事務局：岩見沢商工会議所内
 支部長：五十嵐 閣
 TEL：0126-22-3445

バラ園で結婚式を挙げませんか!!
 お二人の思い平安業が叶います。
 IWAMIZAWA
HEIANKAKU
 岩見沢市東1丁目1番地 TEL:0126-481
 Heiakan@heiban.jp